

平成20年度第1回芦屋市地域密着型サービス運営委員会 会議録

日 時	平成20年6月3日(火) 16時00分 ~ 16時30分		
会 場	市役所北館2階 会議室3		
出席者	委員長 長田 貴 委員 宮崎 睦雄 竹田 千里 羽田 稔郎 川島 知榮子 上田 利重子 小林 正美 高橋 順子 中條 智子 塩川 吉美 安宅 桂子 磯森 健二 事務局 高年福祉課主幹 安達 昌宏 高年福祉課課長 寺本 慎児 高年福祉課主査 細井 洋海 高年福祉課主査 山田 弥生 高年福祉課主査 田嶋 香苗 高年福祉課主事 谷野 誠 高年福祉課主事 明石 典子		
会議の公表	公開	非公開	部分公開
	< 非公開・部分公開とした場合の理由 >		
傍聴者数	1人		

1 議 題

地域密着型サービス状況報告について

- (1) 潮芦屋複合施設建設進捗状況について
- (2) 平成19年度地域密着型サービスの公募について
- (3) 事業所指定更新状況について
- (4) 芦屋市民の市外事業所利用・他市民の芦屋市内事業所利用について
- (5) 地域密着型サービス事業所集団指導の実施について
- (6) グループホーム連絡会開催について
- (7) 小規模多機能型居宅介護事業所の実地指導について

事務局から報告

(長田委員長)

ありがとうございました。質問はございますか。

(羽田委員)

潮芦屋複合施設については、少し前に現地を見に行きましたが更地のままで、建設予定と書かれた看板もない状況でした。その状況を見て非常に不安になりました。

大規模な建設ですから延期が重なることもあると思いますし、最終的にいいものを建てることができればよいと思っていますが、進捗状況については随時報告をいただけたらと思います。

グループホーム連絡会についてですが、介護保険制度は非常に難しいところが多く、なかなか理解しづらいところが多くあります。以前にも勉強会や見学会を開催していただきました。

もし可能なのであれば、勉強を兼ねてグループホーム連絡会を傍聴させていただくことはできないでしょうか。

(長田委員長)

委員会において、現場を知った上で発言をすることは非常に大切なことだと思います。効果的な委員会になると思います。

連絡会の議題の内容によっては、委員が参加するべきではない内容もあると思いますので、内容については調整していただいて、連絡会の方に声を掛けていただけますか。決して、監視するといった意味合いのものではなく、委員会として今後、事業所をバックアップしていく意味で参加させていただきたいと考えています。

(事務局)

連絡会の各回ごとに行政も参加させていただく予定になっておりますので、委員のみなさんの参加についても是非繋げていきたいと思っています。

(川島委員)

住み慣れた地域で人生を全うするという考えについて、市民としては非常に関心の深いところです。

ただ、「地域密着型サービス」と言われるととても難しく、分かりづらいので、もう少し噛み砕いた言葉で分かり易く、集会所等で説明をしていただくことは可能ですか。

(事務局)

可能です。

(長田委員長)

現在すでに開設している事業者からも参加していただき、広く語り掛けていただくということも必要かもしれないですね。

(小林委員)

事業者連絡会では、市内にある事業者について個々の事業者のサービス内容やセールスポイントをまとめたものを市民の方向けに作成しようと動いています。

この中に、地域密着型サービスとして小規模多機能型やグループホーム等についても入れていきたいと考えています。

作成したものは、高年福祉課の窓口を設置していただくと考えています。

(長田委員長)

山手生活圏域の公募についてですが、何か見通しはありますか。

(事務局)

問い合わせはよくいただくのですが、地域的な問題や小規模多機能型を併設することについての抵抗があるようで、具体的な話に進むことが出来ない状況です。

もうしばらく様子を見ていきたいと考えています。

(長田委員長)

計画もあることですから、今後どうしていくかを検討していかなければいけないですね。

(小林委員)

グループホームならしたいという事業者はあるのですか。

(事務局)

グループホーム単体でといった希望での相談はありますが、小規模多機能型単体でといった相談はありません。

(小林委員)

小規模多機能型であれば、アクティブライフ山芦屋でもともと小規模多機能型サービスをするために用意していたスペースがあると思います。

もし、そこで小規模多機能型ができるのであれば、グループホーム単体での開設も選択肢として考えられるようになるのではと思います。

企業としての収支の問題等があるのだとは思いますが、芦屋市で事業を構えているわけですし、資源があるわけですから、行政としてなんとか働き掛けていただいで利用できるようにしていただきたいと思います。

(事務局)

事業者と協議していきたいと思います。

(長田委員長)

小規模多機能型サービスで何か課題になっていることはありますか。

(事務局)

重度の利用者の偏りがあることと、経常的な長期宿泊者がおられ、他の利用者との共有を図っていただく為にどのようにして対応していくかといった課題があるようです。

この点については、実地指導の際にも具体的に聞き取りを行なっていきたいと考えております。

(安宅委員)

小規模多機能型で長期的に宿泊を利用している利用者がおられると聞いています

し、軽度の方がデイサービスに行かれても、重度の方に手が取られて、放ったらかしにされているといった話も聞きます。

(長田委員長)

小規模多機能型については資質についてどう図っていくかが問題ですね。

地域密着型サービスについては、第三者評価を受けなければならないという基準がありますので、評価を受けた中で各事業者において資質の向上を図っていただきたいと思います。

2 その他

事務局から報告

(長田委員長)

本日の会議は閉会いたします。

以 上